



2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月8日

上場会社名 株式会社カーブスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7085 URL https://www.curvesholdings.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増本 岳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松田 信也 (TEL) 03-5418-9922
 定時株主総会開催予定日 2021年11月25日 配当支払開始予定日 2021年11月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日~2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	24,681	△1.6	1,622	39.0	1,716	47.4	1,129	47.7
2020年8月期	25,082	△10.5	1,167	△78.5	1,165	△77.8	764	△79.4

(注) 包括利益 2021年8月期 1,490百万円(96.2%) 2020年8月期 759百万円(△77.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	12.04	—	13.1	4.7	6.6
2020年8月期	8.73	—	9.6	3.3	4.7

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 ー百万円 2020年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	36,284	9,163	25.3	97.63
2020年8月期	36,837	8,142	22.1	86.76

(参考) 自己資本 2021年8月期 9,163百万円 2020年8月期 8,142百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	3,240	△733	△2,309	9,760
2020年8月期	1,882	△464	2,765	9,533

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	5.00	5.00	469	57.3	5.5
2021年8月期	—	0.00	—	5.00	5.00	469	41.5	5.4
2022年8月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00		41.1	

(注) 2020年8月期期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日~2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,050	9.7	1,400	60.6	1,380	106.2	899	158.8	9.58
通期	26,550	7.6	2,500	54.1	2,450	42.7	1,598	41.5	17.03

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期	93,857,493株	2020年8月期	93,857,493株
② 期末自己株式数	2021年8月期	121株	2020年8月期	121株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	93,857,372株	2020年8月期	87,633,268株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、決算説明につきましては、2021年10月15日（金曜日）に、事前に撮影した映像を当社ウェブサイト（<https://www.curvesholdings.co.jp/>）に掲載する形式で行います。

この動画で利用する決算補足説明資料につきましては、同日にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループ（当社及び連結子会社）は主力事業である「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」などを通じて健康寿命の延伸に寄与し、社会課題の解決に貢献する「地域の健康インフラ」として、顧客サービス強化による会員の満足度向上、会員数拡充に努めております。

当社グループでは、ウィズコロナ・アフターコロナの市場環境は次の2つの視点から大きく変化するものと捉えています。

- ①健康マーケットの広がり：コロナショックは自らの生命、健康に目を向けざるを得ない機会となり、中長期的には「自分の健康は自分で守る」との認識が一層広がり、予防・健康マーケットは大きく拡大をしていく。
- ②非接触型サービス需要の高まり：アフターコロナにおいても消費者心理、社会経済状況には新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残り、非接触型サービスの需要が高まるなど質的な変化が発生する。

このような経営環境の中、当社グループは2022年末までの約2年間での事業回復と新しい経営環境下でのビジネスモデル確立を目指しており、2021年8月期(2020年9月1日～2021年8月31日)は、その確かな道筋を創る年度と位置付け戦略を遂行してまいりました。

事業回復の最重要指標である会員数は、前連結会計年度末60.0万人から9.2万人純増し、69.3万人（オンライン会員を含む）となりました。

年度を通じて緊急事態宣言等が繰り返し発出される中においても感染予防を徹底した営業を継続し、サービス品質を高め顧客満足度向上に取り組んだ結果、月次退会率は既にコロナ前の水準以下に抑えることができております。

新規会員募集においては年3回の新規体験キャンペーンを実施、強みである「クチコミ紹介」マーケティングおよびTVCMとWebプロモーション等のメディアミックスマーケティングが功を奏し、会員数の増加につながりました。特に重点施策であるヤング層（50～64歳）マーケティングが着実に成果を上げており、64歳以下の新規入会者数が増え、新規入会者全体に占める64歳以下の割合も増加をしています。

2020年9月に特別休会者向けに先行リリースをしたオンライン体操教室「おうちでカーブス」は、2021年4月より新規会員募集を開始いたしました。リアルとオンラインを融合させた新たなビジネスモデル構築への取り組みを進めております。

また物販においては、「食生活の相談」を通じたプロテイン等のご提案によって新規定期購入者数が増加し、また2020年12月販売開始のプロテイン愛飲者向けの新商品の販売も好調に推移したことで客単価が向上し、会員向け物販売上高はコロナショック前の水準にほぼ回復をしました。

なお、2021年4月23日以降に発出された緊急事態宣言等の影響により、休業要請の対象となった大型施設に入居する一部の店舗において休業（最大時31店舗）等が発生をいたしました。対象店舗の会員様のおよそ70%は近隣店舗利用もしくはオンライン体操教室「おうちでカーブス」の利用によって運動を継続いただくことができており、会費返金等の影響は最小限にとどまりました。

また、コロナショックの影響が大きい店舗の統廃合を引き続き進めており、統廃合店の会員様のうち約70%の方は他店に移籍をして運動を継続いただいています。

これらによって、当連結会計年度末の国内カーブス（メンズ・カーブスを除く）店舗数及び会員数は次の通りとなりました。

1. 国内カーブス店舗数

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)		
		前連結会計年度末比		
店舗数	2,020店舗	1,958店舗	△62店舗	△3.1%
内、直営店舗数	70店舗	75店舗	5店舗	7.1%
フランチャイズ（以下、FC。）店舗数	1,950店舗	1,883店舗	△67店舗	△3.4%

2. 国内カーブス会員数

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)	
		前連結会計年度末比	
休会を除く実質会員数	60.0万人	69.3万人	9.2万人 15.5%

- (注) 1. 当連結会計年度の新規出店数は17店舗、閉店・統合数は79店舗となっております。
 2. 特別休会制度は2021年3月末をもって終了しております。
 3. 国内カーブス会員数には、オンライン体操教室「おうちでカーブス」の会員数を含んでおります。

男性向け運動施設「メンズ・カーブス」は、当連結会計年度に2店舗出店し、総店舗数は7店舗となりました。

海外事業は、2019年7月にFC本部事業を買収いたしました欧州を重点地域と位置付けています。当連結会計年度末(2021年6月末(決算期のずれにより、2ヶ月遅れでの連結取り込み))の欧州カーブス(イギリス・イタリア・スペイン・他5ヶ国)店舗数は157店舗(全店FC店舗)、うち154店舗は各国のロックダウン解除により順次営業を再開いたしました。

また、コスト面においては、休業休会に伴うFC加盟店への経営支援金が減少をした一方、積極的にマーケティング費用を投下したこと、オンライン体操教室「おうちでカーブス」開発投資を引き続き実行したことなどによって、販売費及び一般管理費は前連結会計年度比779百万円増加いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は、246億81百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は、16億22百万円(前年同期比39.0%増)、経常利益は、為替変動によりCurves International, Inc.においてキャッシュの増減には影響しない為替差益が発生した結果、17億16百万円(前年同期比47.4%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税、住民税及び事業税を10億11百万円計上したこと等により、11億29百万円(前年同期比47.7%増)となりました。

また、当社グループはカーブス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億53百万円減少し362億84百万円(前連結会計年度末比1.5%減)となりました。

流動資産は3億14百万円減少し149億61百万円(同比2.1%減)となりました。これは主に、商品が4億19百万円減少したことなどによるものです。

有形固定資産は1億79百万円増加し5億5百万円(同比55.0%増)となりました。

無形固定資産は6億61百万円減少し201億28百万円(同比3.2%減)となりました。これは主に、商標権が5億66百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は2億42百万円増加し6億89百万円(同比54.4%増)となりました。

固定資産の総額は2億38百万円減少し213億23百万円(同比1.1%減)となりました。

(負債)

流動負債は16億67百万円増加し89億29百万円(同比23.0%増)となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどによるものです。

固定負債は32億41百万円減少し181億91百万円(同比15.1%減)となりました。これは主に、長期借入金が増加したことなどによるものです。

負債の総額は15億74百万円減少し271億21百万円(同比5.5%減)となりました。

(純資産)

純資産は10億21百万円増加し91億63百万円(同比12.5%増)となりました。これは主に、配当金4億69百万円を支払った一方、親会社株主に帰属する当期純利益11億29百万円を計上したことにより利益剰余金が増加したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して2億26百万円増加し、97億60百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、32億40百万円の資金増加（前連結会計年度18億82百万円）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が17億5百万円、商標権償却額が10億3百万円、たな卸資産の減少に伴う資金増加が4億21百万円および法人税等の還付額が4億55百万円だった一方、売上債権の増加に伴う資金減少が6億2百万円、法人税等の支払額が6億28百万円だったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、7億33百万円の資金減少（前連結会計年度△4億64百万円）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が4億7百万円、有形固定資産の取得による支出が2億49百万円だったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、23億9百万円の資金減少（前連結会計年度27億65百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が18億40百万円、配当金の支払額が4億69百万円だったことによるものです。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期 (当連結会計年度)
自己資本比率 (%)	22.6	22.1	25.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	—	173.0	217.3
債務償還年数 (年)	3.0	10.2	5.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	85.3	32.1	48.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額（期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後））／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済み株式総数により算出しております。

（注2）2019年8月期は当社株式は非上場であり、期末株価終値が把握できないため記載しておりません。

（注3）有利子負債は、連結貸借対照表中の負債のうち、利子を支払っている全ての負債であります。

（注4）営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注5）利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社グループは2022年末（2022年12月末）までの約2年間で事業回復と新しい経営環境下でのビジネスモデル確立を目指しており、2022年8月期（2021年9月1日～2022年8月31日）は、これを確実なものとする年度と位置付け戦略を遂行してまいります。

2021年8月期（2020年9月1日～2021年8月31日）は、利益が通期予想を上回った一方、最優先課題である「会員数の早期回復」には道半ばであり、足元の経営環境は引き続き不透明かつ不安定な状況にあります。このような中、早期の事業回復と新しい経営環境下でのビジネスモデル確立を実現するには、

- ①顧客満足度の一層の向上、フランチャイズ加盟店経営の安定化などの事業基盤を守り育てること
- ②マーケティングを強化し、積極的な費用投下をし、会員数の回復をまず図ること
- ③オンライン体操教室「おうちでカーブス」など新たなビジネスモデルを早期に軌道に乗せること

が引き続き重要課題であると認識しており、2022年8月期においてもマーケティングの強化等の戦略投資を実施していく計画です。

2022年8月期の通期連結業績見通しは、売上高265億50百万円（前連結会計年度比7.6%増）、営業利益25億円（前連結会計年度比54.1%増）、経常利益24億50百万円（前連結会計年度比42.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益15億98百万円（前連結会計年度比41.5%増）を見込んでいます。

詳細は以下の通りです。

（前提としている経営環境）

本業績見通しは、ワクチン接種率の向上や医療体制整備の進展などによってコロナショックの社会経済活動への影響が段階的に穏やかなものとなり、国民の日常生活も感染予防はしつつも徐々に正常化をしていくケースを前提として策定しています。

新たな変異株による感染拡大、医療体制の逼迫などによって、再び社会経済活動へ大きな影響が発生することも考えられますが、本業績見通しはそのような事態の発生を想定しないケースとして策定しております。

（国内事業）

- ・2022年8月期通期で、新規出店を25店舗、コロナショックの影響が大きいFC店の閉店・統合を50店舗予定しており、店舗数は25店舗純減の期末1,933店舗と予想しています。
- ・2020年2月末83.2万名であった会員数は、コロナショックの影響により2020年5月末54.5万名（休会を除く実質会員数）まで減少しましたが、2021年8月末69.3万名まで回復をいたしました。2022年8月期は「会員数の早期回復」に向けて、年3回の魅力的なキャンペーンを実施すること等による新規入会の復調を見込んでおり、期末の会員数を79.8万名（オンライン会員を含む）と予想しています。
- ・会員向け物販は会員数増に応じた契約数、販売数の増加を見込んでいます。
- ・2022年末までの事業回復と新しい経営環境下でのビジネスモデル確立を実現するためには、「会員数の早期回復」が優先課題となります。そのため、マーケティング費用の積極的投下、新規事業開発への戦略的投資を引き続き進めていく計画です。

（海外事業）

- ・重点地域である欧州（イギリス、イタリア、スペインなど）においては、各国営業を再開しており、会員数も回復に向かっています。今後、社会経済状況が落ち着いてきた地域から徐々に、オンラインフィットネスの提供など新しいビジネスモデルの実験を積み重ね、変化する経営環境に適応した戦略の立案と実行をしていきます。そのため、通期で営業赤字が続く見通しとしております。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,533,587	9,760,075
受取手形及び売掛金	3,243,741	3,857,456
商品	1,511,593	1,092,413
原材料及び貯蔵品	6,116	4,249
その他	1,127,615	423,056
貸倒引当金	△147,384	△176,103
流動資産合計	15,275,269	14,961,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	517,248	546,258
減価償却累計額	△296,868	△337,995
建物及び構築物(純額)	220,379	208,262
工具、器具及び備品	632,144	904,706
減価償却累計額	△526,337	△607,238
工具、器具及び備品(純額)	105,807	297,468
有形固定資産合計	326,187	505,730
無形固定資産		
のれん	1,392,773	1,346,271
商標権	17,997,264	17,431,010
ソフトウェア	666,101	815,317
その他	733,374	535,473
無形固定資産合計	20,789,513	20,128,072
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	60,200
敷金及び保証金	253,498	291,474
繰延税金資産	155,771	288,275
その他	21,166	53,529
貸倒引当金	△3,492	△3,561
投資その他の資産合計	446,943	689,917
固定資産合計	21,562,644	21,323,720
資産合計	36,837,913	36,284,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,562,764	1,690,879
1年内返済予定の長期借入金	1,840,000	3,090,000
未払金	919,875	868,646
未払費用	291,399	324,313
未払法人税等	364,394	694,617
賞与引当金	223,835	238,117
ポイント引当金	44,320	69,880
株主優待引当金	30,622	19,810
預り金	1,653,990	1,731,552
その他	331,404	202,056
流動負債合計	7,262,606	8,929,876
固定負債		
長期借入金	17,420,000	14,330,000
繰延税金負債	3,887,324	3,728,604
資産除去債務	125,377	132,778
固定負債合計	21,432,701	18,191,383
負債合計	28,695,308	27,121,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	848,666	848,666
資本剰余金	828,666	828,666
利益剰余金	6,328,053	6,988,449
自己株式	△76	△76
株主資本合計	8,005,310	8,665,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	26,294
為替換算調整勘定	137,294	471,607
その他の包括利益累計額合計	137,294	497,902
純資産合計	8,142,605	9,163,608
負債純資産合計	36,837,913	36,284,867

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	25,082,276	24,681,001
売上原価	15,914,099	14,277,818
売上総利益	9,168,177	10,403,183
販売費及び一般管理費	8,000,895	8,780,704
営業利益	1,167,282	1,622,479
営業外収益		
受取利息及び配当金	178	284
為替差益	—	77,894
助成金収入	86,396	35,420
保険金収入	4,475	421
受取補償金	—	30,000
その他	11,807	23,680
営業外収益合計	102,857	167,701
営業外費用		
支払利息	58,592	66,330
支払手数料	37,189	1,900
為替差損	3,704	—
その他	5,642	5,124
営業外費用合計	105,128	73,354
経常利益	1,165,011	1,716,826
特別損失		
固定資産除却損	5,993	6,724
減損損失	11,815	4,256
特別損失合計	17,809	10,981
税金等調整前当期純利益	1,147,202	1,705,844
法人税、住民税及び事業税	530,629	1,011,711
法人税等調整額	△148,131	△435,549
法人税等合計	382,498	576,162
当期純利益	764,703	1,129,682
親会社株主に帰属する当期純利益	764,703	1,129,682

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益	764,703	1,129,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	26,294
為替換算調整勘定	△5,036	334,312
その他の包括利益合計	△5,036	360,607
包括利益	759,666	1,490,290
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	759,666	1,490,290
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,018	18	7,579,658	—	7,599,694
当期変動額					
新株の発行	828,648	828,648			1,657,297
剰余金の配当			△2,016,307		△2,016,307
親会社株主に帰属する当期純利益			764,703		764,703
自己株式の取得				△76	△76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	828,648	828,648	△1,251,604	△76	405,616
当期末残高	848,666	828,666	6,328,053	△76	8,005,310

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	—	142,331	142,331	7,742,025
当期変動額				
新株の発行				1,657,297
剰余金の配当				△2,016,307
親会社株主に帰属する当期純利益				764,703
自己株式の取得				△76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	△5,036	△5,036	△5,036
当期変動額合計	—	△5,036	△5,036	400,579
当期末残高	—	137,294	137,294	8,142,605

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	848,666	828,666	6,328,053	△76	8,005,310
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△469,286		△469,286
親会社株主に帰属する当期純利益			1,129,682		1,129,682
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	660,395	—	660,395
当期末残高	848,666	828,666	6,988,449	△76	8,665,706

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	—	137,294	137,294	8,142,605
当期変動額				
新株の発行				—
剰余金の配当				△469,286
親会社株主に帰属する当期純利益				1,129,682
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	26,294	334,312	360,607	360,607
当期変動額合計	26,294	334,312	360,607	1,021,003
当期末残高	26,294	471,607	497,902	9,163,608

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,147,202	1,705,844
減価償却費	581,525	664,085
減損損失	11,815	4,256
のれん償却額	78,386	79,968
商標権償却額	1,019,482	1,003,484
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	48,327	24,474
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,706	13,958
受取利息及び受取配当金	△178	△284
支払利息	58,592	66,330
為替差損益 (△は益)	3,704	△77,894
固定資産除却損	5,993	6,724
売上債権の増減額 (△は増加)	536,327	△602,065
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△617,102	421,109
前払費用の増減額 (△は増加)	39,902	△39,603
仕入債務の増減額 (△は減少)	△543,197	126,262
未払金の増減額 (△は減少)	457,189	△191,238
未払費用の増減額 (△は減少)	△35,430	32,120
その他	△325,770	242,254
小計	2,492,476	3,479,788
利息及び配当金の受取額	178	284
利息の支払額	△58,592	△66,330
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△551,754	△172,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,882,307	3,240,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112,322	△249,924
無形固定資産の取得による支出	△311,808	△407,696
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
長期前払費用の取得による支出	△11,374	△33,802
敷金及び保証金の差入による支出	△13,228	△41,921
敷金及び保証金の回収による収入	4,537	3,849
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	875
その他	—	△4,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464,196	△733,329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,964,100	—
長期借入金の返済による支出	△1,840,000	△1,840,000
株式の発行による収入	1,657,297	—
自己株式の取得による支出	△76	—
配当金の支払額	△2,016,307	△469,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,765,013	△2,309,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	389	28,146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,183,514	226,488
現金及び現金同等物の期首残高	5,350,073	9,533,587
現金及び現金同等物の期末残高	9,533,587	9,760,075

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、カーブス事業のみの単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	86.76円	97.63円
1株当たり当期純利益	8.73円	12.04円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	764,703	1,129,682
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	764,703	1,129,682
普通株式の期中平均株式数(株)	87,633,268	93,857,372
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当期純 利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。